



2024年6月 第761号

教会だより

カトリック甲府教会 月報

〒400-0032 山梨県甲府市中央2-7-10

Tel / Fax 055-237-2531 <http://catholic-kofu.com>

編集・発行 カトリック甲府教会 広報委員会

「世界こどもの日」教皇メッセージ

大好きな子どもたち！

初めての世界こどもの日が近づいてきました。ローマでは、5月25日と26日に行われます。だからあなたたちに、メッセージを送ろうと思いました。このメッセージを受け取ってもらえたらうれしいです。あなたたちに届くよう、力を尽くしてくれた皆さんに感謝します。

わたしはまず、だれよりもあなたに、大好きな子どもたちの一人ひとりにお話しします。聖書が教えてくれるように、そしてイエス様が何度も示してくださったように、神様から見て、「あなたは価高い」（イザヤ43・4）からです。

そしてまたこのメッセージを、あらゆる人にもあてます。皆さん全員が大切な存在だからです。

皆、近くの人でも遠くの人でも、わたしたち皆の一人ひとりが、一緒に成長し、新しい自分になりたいという願いを現しているからです。忘れてはなりません。わたしたちは全員が子であり兄弟姉妹です。だれかがこの世に送り出してくれなければだれも存在できませんし、自分にとって愛する人、また自分を愛してくれる人なしに成長できる人もいません。

ですから、こどもの皆さんはだれもが、あなたたちの親にとって、家族にとっての喜びです。さらには人類の喜びでもあり、教会の喜びでもあります。皆さんの一人ひとは、過去から来て未来へと続く長い長い鎖の輪の一つのようなもので、その鎖が地球全体を覆っているのです。だからいいですか、大人のいうことをしっかり聞いてください。お母さんのいうこと、お父さんのいうこと、おじいちゃんおばあちゃん、ひいおじいさんひいおばあさんの話にちゃんと耳を傾けることです。さらには、忘れないでほしい人たちがいます。あなたたちと同じくまだまだ子どもなのに、病院や家で病気や障害に負けずにがんばっている子、戦争や暴力の犠牲になっている子、飢えや渴きに苦しんでいる子、路上で暮らしている子、親



と引き離されて兵士にさせられたり避難民になったりしている子、学校に行けない子、犯罪組織や薬物などの何か逃れられないものや虐待の犠牲になっている子たちのことです。つまり今日、残酷にも子ども時代を奪われているすべての子たちです。こどもの皆さん、その子たちの声に耳を傾けてください。いえ、わたしたち皆で耳を傾けましょう。その子たちの苦しみは、わたしたちに現実を伝えているからです。涙で洗われた目で訴え、恐ろしい悪を目にして抱く幸福への強い願いを通してそれを教えてくれるのです。

わたしのお友達の、まだ小さな皆さん。新しい自分になるには、世界を新たにするには、わたしたちが一つになるだけでは足りません。イエス様とも結ばなければなりません。わたしたちはイエス様から、たくさん勇気をもらっています。イエス様はいつもそばにいてくださり、その霊はわたしたちより先にいて、この世界の道を進むわたしたちと一緒にいてくれます。イエス様はこうおっしゃいます。「見よ、わたしは万物を新しくする」（黙示録 21・5）。これが、第1回「世界こどもの日」のテーマに選んだ聖句です。この聖句は、聖霊がわたしたちの内面と周囲とに生み出す新しさをつかむのに、こどものように機敏であるよう招いています。イエス様といれば、わたしたちは新しい人類を夢見ることができますし、もっと兄弟愛のある社会、わたしたち皆で住む家である地球を思いやる社会のために一生懸命になれます。それは小さなことから始められます。あいさつをすること、何かの前に「いいですか」と尋ねること、謝ること、感謝を伝えることなどによってです。まずは小さなことを通して世界は変わっていきます。踏み出す一步の小ささは恥ずかしいことではありません。まさに、わたしたちの小ささは、わたしたちは弱くて、一つのからだの部分として互いを必要としていることを思い出させてくれます（ローマ 12・5、一コリント 12・26 参照）。

ほかにも伝えたいことがあります。大好きなこどもたち、一人では幸せにはなれません。喜びは、分かち合うほど大きくなるものだからです。喜びは、わたしたちがもらった贈り物への感謝から生まれ、そしてその喜びは、もらったものを次にはほかの人たちに分けてあげることで大きくなるのです。もらったものを独り占めしたり、あっちがいい、こっちがいいと、だだまでこねたりするのは、お互いにとって、自分たち自身がいちばんの贈り物だということを忘れているからです。わたしたちは「神様の贈り物」なのです。それ以外の贈り物は、わたしたちがともに生きていくのに役立てるためにだけ用いるものです。そういう用い方をしないならば、不満ばかりで決して満足できません。

ところが皆で一緒にいるなら、何もかもが違ってきます。お友達のことを思い浮かべてみてください。家で、学校で、教会で、遊び場で、どこでも、友達と、だれも仲間外れにせず、遊んだり、歌ったり、新しいことを見つけたり、大笑いして一緒にいるのは、なんてすてきなことでしょう。友情は最高のものです。我慢、勇気、創造力、想像力をもって、恐れず、偏見を捨てて、分かち合い、ゆるし合うことでしか、友情は強まりません。

さてここで、大切なヒントを伝えようと思います。本当に幸せになるには、祈らなければならないということです。日々、たくさん祈ることです。祈りは、わたしたちを神様と直接結び、わたしたちの心を光と温もりで満たし、何事にも自信と落ち着きをもって取り組めるようにしてくれるからです。イエス様もいつも、御父に祈っていました。御父をどのように呼んでいたか知っていますか。イエス様のお国ことばで、単純に「アッバ」と呼んでいまし

た（マルコ 14・36 参照）。「パパ」という意味です。わたしたちも「パパ」と呼びかけましょう。御父をいつも身近に思えるはずです。イエス様自身が、次のようにおっしゃってわたしたちに約束してくれたのです。「二人または三人がわたしの名によって集まる場所には、わたしもその中にいるのである」（マタイ 18・20）。

大好きなこどもたち。5月には、世界中からのお友達と、大勢でローマに集まることは知っていますね。そのためにしっかり準備するよう、ぜひ、イエス様がわたしたちに教えてくださった祈り、「主の祈り」を祈ってください。朝と晩にいつも、それから家族と一緒に、ご両親、兄弟姉妹、おじいちゃんおばあちゃんと一緒に、主の祈りを唱えましょう。ですが、呪文のようにではありません。それではだめです。イエス様がわたしたちに教えてくださったことばを味わいながらです。イエス様はわたしたちに呼びかけ、わたしたちがイエス様とともに、この「世界こどもの日」の主役となり、新しく、より人間らしい、正義と平和のある世界を作る者となるよう望んでいます。

わたしたち全員を愛のもとに集めるために十字架上でご自身を渡されたかた、死に打ち勝ち、わたしたちを御父と和解させたかたは、教会で、わたしたちを通して、ご自身のわざが続くことを願っています。そのことをよく考えてみてください。とくに、初聖体の準備をしている皆さんは、それを考えてください。

大好きなこどもたち。神様はどんなときもわたしたちを愛してくださっていて（エレミヤ 1・5 参照）、お父さんのようにだれよりも深い愛のまなざしを、お母さんのようにだれよりも優しいまなざしを注いでくださっています。神様はわたしたちを決して忘れはしません（イザヤ 49・15 参照）。毎日、わたしたちに寄り添っておられ、ご自分の霊によってわたしたちを新たにしてくれます。

至聖なるマリア様と聖ヨセフ様とともに、このように祈りましょう。

聖霊、来てください。
あなたのすばらしさが
世界のこどもたちの顔に映し出され
わたしたちに示されますように。
イエスよ、来てください。
あなたはすべてを新たにし
わたしたちを御父へと導く道です。
来て、わたしたちとともにいてください。
アーメン。

ローマ
サン・ジョヴァンニ・イン・ラテラノ大聖堂
2024年3月2日
フランシスコ

（カトリック中央協議会hpより）



おしらせ



1 せいしょうねんいくせいいいんかい 青少年育成委員会

今年は、6月2日キリストの聖体の主日に、初聖体をうけるために子どもさん達が準備をしております。どうぞ、大きな喜びのうちに初聖体の恵みに与ることができるようお祈りでお支えください。

2 せい しとざ けんきん 聖ペトロ使徒座への献金

6月23日（日）聖ペトロ使徒座への献金（聖ペトロ聖パウロ使徒の祭日または直前の日曜日） 教皇は毎年、世界各地を訪問します。そして、人々の苦しみや悩みを聞き、優しい笑顔で力づけ、数々の援助を与えます。キリストの代理人、教会の最高牧者である教皇は、祈りと具体的な援助を通して全世界の人々にいつも寄り添っているのです。

3 ちいきふくしいんかい 地域福祉委員会

・台湾地震被災者救援募金

4月7日～28日まで実施 募金額 63,226円

5月9日 日本赤十字社に送金いたしました。ご協力ありがとうございました。

・フードドライブへの協力

緊急の食料支援をお願いいたします。期間 2024年5月19日（日）～
6月30日（日）

4 しんと しゅうどうしゃ しさい しんこう わ こうりゅうかい かいさい おし 「信徒・修道者・司祭がともに信仰を分かち合う交流会」開催のお知らせ

共同宣教司牧サポートチーム神奈川が、6月29日（土）の12時半～17時にカトリック平塚教会で第1回目の「信徒・修道者・司祭が共に信仰を分かち合う交流会」を開催します。テーマは「信仰の体験を分かち合う～好きな聖人、または聖書の登場人物（イエス以外）～」です。

第2回目の交流会は、11月に甲府カトリック教会で行う予定になっています。そちらには是非ご参加をお願いします。第1回目の交流会に参加してみたい方は、相河まで、6月9日（日）までにご連絡ください。

- 5 きずな^{かい}の会 6月12日(水) 10:00 ~ センターホール
- 6 ^{てんれいいんかい}典^{れい}礼^{いん}委員^{かい}会 6月15日(土) 9:30 ~ センターホール
- 7 ^{ちいきふくしいんかい}地^き域^{ふく}福^{しいん}祉^{かい}委員^{かい}会 6月16日(日) 11:30 ~ サントルチア講堂
- 8 ^{こうほういんかい}広^{ほう}報^{いん}委員^{かい}会 6月30日(日) 11:30 ~ センターホール
-

が^つ 6月はイエスのみ^{こころ}心^{つき}の月

イエスのみ心は全人類に対する神の愛の象徴としてイエスの心臓を表し、その信心はイエスのみ心に表される神の愛を思い起こし、その無限の愛のしるしであるみ心をたたえるものとして中世に始まりました。

特に聖マルガリタ・マリア・アラコック(1647-90)がみ心の信心についての啓示を受けて17世紀にフランスで広まりました。1675年6月16日、この聖女はご聖体を前にして、イエスの愛にこたえたいという思いに駆られました。そのときイエスは、愛情に燃えているみ心を示して、人々の間に存在する冷淡な心を嘆かれ、イエス自身の愛に倣ってその心を尊ぶことを勧められました。

またこのようなイエスの出現が数回にも及び、ご聖体の祝日(キリストの聖体)後の金曜日をみ心を礼拝する特別な祝日として定めるようにとのお告げにより、み心の信心の内容と形式が明確にされるようになりました。

そして1856年に教皇ピオ9世によってイエスのみ心の祭日のご聖体の祝日後の金曜日に全世界で祝うことが定められました。ご聖体とみ心の主日がおおよそ6月に祝われるというこのような歴史からして、次第に6月が「イエスのみ心の月」と自然に浸透し、制定されてきたことは十分に考えられます。



(カトリック中央協議会hpより)



今月の教会カレンダー（典礼暦・外国語ミサ・行事等）



6月 2日（日）	キリストの ^{せいだい} 聖体 （年間第9週）	10:30 14:00	ミサ ベトナム語ミサ（tiếng Việt）
6月 7日（金）	はつきん 初金	9:30	ミサ
6月 9日（日）	ねんかんだい ^{しゅじつ} 年間第10主日	10:30 15:00	ミサ ポルトガル語（Português）
6月 16日（日）	ねんかんだい ^{しゅじつ} 年間第11主日	10:30 12:30	ミサ 韓国語ミサ（한글）
6月 23日（日）	ねんかんだい ^{しゅじつ} 年間第12主日	10:30 14:00	ミサ 千葉 俊一神父司式 （富士吉田教会主任司祭） 英語ミサ（English）
6月 30日（日）	ねんかんだい ^{しゅじつ} 年間第13主日	10:30	こどものミサ
7月 5日（金）	はつきん 初金	9:30	ミサ
7月 7日（日）	ねんかんだい ^{しゅじつ} 年間第14主日	10:30 14:00	ミサ ベトナム語ミサ（tiếng Việt）

月定献金振込先（教会維持費）

山梨中央銀行 本店営業部 普通預金 188674

墓地・納骨堂管理費振込先（毎年1月～5月中に）

山梨中央銀行 本店営業部 普通預金 1402890

受取人（宗）カトリック横浜司教区甲府カトリック教会

